

平成 26 年度「バスで行く！親子で環境学習ツアー」アンケート結果

アンケート実施日：平成 26 年 7 月 24 日（木）

アンケート対象者：ツアー参加者 15 組

アンケート実施場所：大阪湾広域臨海環境整備センター兵庫建設事務所内会議室

参加学年内訳：

4 年生 13 組

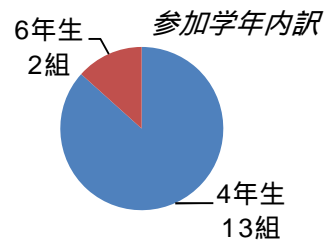
5 年生 0 組

6 年生 2 組

参加者性別：

男 11 組

女 4 組



Q1.今日の「バスで行く！親子で環境学習ツアー」を何で知りましたか？

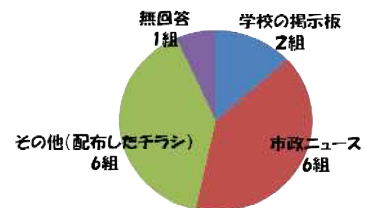
学校の掲示板上 2 組

市政ニュース 6 組

市のホームページ 0 組

その他 6 組（配布したチラシ）

無回答 1 組



Q2.今日、「バスで行く！親子で環境学習ツアー」に参加してどうでしたか？

楽しかった 13 組

楽しくなかった 0 組

わからない 2 組

Q3.どんなところが楽しかった（楽しくなかった）ですか？

- ・ 最終処分場の見学が楽しかった
- ・ 見学（処理センタープラットホーム）をしているときにちょうど車（収集車）がきたから（ごみ排出の様子を見ることができた）
- ・ 西部総合処理センターの見学
- ・ 船に乗ったところ ゴミの灰がどうなるかわかったところ
- ・ ふねが楽しかった
- ・ 工作のガラスびんが楽しかったです
- ・ ガラス工ぼうをつくったところ
- ・ けしきがよかった

- ・ガラスの工作がしんどかったけどとても楽しかったです
- ・待ち時間が長かった見学と工作を半数に分かれていけば良かった
- ・ちょっと暑すぎて後半しんどくなってしまった
- ・いろいろきかいがみれてたのしかった
- ・神戸沖うめ立て処分場へいったこと
- ・ガラス工房が楽しかった 埋立地が見れて良かった
- ・船にのれたところ

Q4.どのような企画があれば参加したいですか？

- ・とくにありません
- ・色々な所に行く企画があればさんかしたい
- ・西宮市長さんと一日市役所の裏側をまわり仕事をみせてもらう
- ・また工作やリサイクルの物で作ってみたいです
- ・知りません
- ・下水処理場見学
- ・夏休み等休みの時だと子供と一緒に参加出来るので親子で楽しめる企画だと嬉しいです
- ・普段いけないところに行くツアー
- ・いろんなゴミ処理場めぐり（大阪南港？）とか。（各自治体はどうか？）
- ・西宮の名物めぐり

Q5.本日の環境学習ツアーを通して、ごみの減量やリサイクルについて学べましたか。

学べた	15組
学べなかった	0組
わからない	0組

Q6.今日の感想や意見があれば書いてください。

- ・ごみ処分をしてくださるおかげで私たちは有りがたく感謝してくらしていきたいです
- ・手作業選別について（ビンの色別（識別）など）各家庭で分別してもらったら良いと思います
- ・今日は西部総合しゅりセンターやうめたてちへいけて良かった
- ・それぞれの施設でいねいに説明して下さって親も楽しかったです。真夏の外はちょいおとなにはシンドかったです。なかなか見られない場所まで行けて良い経験になりました。ありがとうございました（母）
- ・今日はありがとうございました。わたしがノートでメモをした事をなつ休みの自由けんきゅうに生（活）かしたいと思っています。とても楽しく学べたと思っております
- ・なかなか見学できない場所が見れて勉強になりました

・自分たちの出したゴミ、たくさんの人達がかかわって知恵をしぼって処理をしている。ゴミをへらす様に努力したい。母 埋立て地を長持ちさせるために、3R 活動をしたり、ごみをへらす工夫をしていこうと思った

・とても楽しく興味をもって見学させて頂きました。大人になっても知らない事が多く、ゴミをリサイクルする事がなぜ必要か実体験を子供にさせる事ができ良い機会でした。

NIMBY を考えて心にとめておきます

・ゴミの分別が大事なことを改めて思った。ゴミをいかに減らし、環境（においや有機物処理 etc）にも良いように工夫されていることもよくわかった

・ごみのことがよくわかってよかった

「NIMBY」とは、「NOT IN MY BACK YARD」という環境問題に関する用語であり、兵庫建設事務所において話したことを受けて意見を書いていただいたと思います。「裏庭にはいない」という意味で、たとえば、ごみ処理場や最終処分場が必要不可欠であることを全員が理解しているが、自分の家の近くに建設されるとなると反対してしまうというジレンマを表したものです。この概念が環境問題やごみ問題の根本的な要因ともいえます。このような考え方もあることを知ってくださいと話しました

以上